## 令和3年度施策評価シート (評価対象年度 令和2年度)

●基本情報

施策名	【12】生涯	2】生涯スポーツの推進 評価番号 3-4-12						
基本計画	基本方針 【3】誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり							
<b>左</b> 平司 四	基本施策	【4】参加	しやすい文化	• ス	ポーツ環境の	整備		
担当課(係)	生涯学習	3課 (	社会教育係	)		(		)
担当課(係)	( )					(		)

### ●施策の方向 ~PLAN~

ルつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことが出来る生涯スポーツの環境づくりを目指します。 町民の体力向上や健康保持増進を図り、スポーツ活動を通して、住民相互の親睦を深めます。 スポーツ団体の育成と支援及び指導者の資質向上に努めます。 競技力向上を図るとともに、競技を通して地域間交流を深めます。

### ●令和2年度主な取組 ~DO①~

主な取組	①生涯スポーツ事業の推進						
取組内容	町民運動会については、新型コロナウイルス感染症により事業をやむを得ず中止しております。 スポーツ推進においては、各指導員が各種スポーツの技術向上に向けた指導等を 行っています。						
		事業名 (取組名)	評価		事業名 (取組名)	評価	
構成事業	1	町民運動会事業	縮小	4			
)	2	スポーツ推進事業	現状維持	5			
	3			6			
主な取組		②ス	ポーツ技術	・競	技力の向上		
取組内容	駅伝大会及び豊島杯体育大会は、新型コロナウイルス感染症により事業をやむを得ず中止しております。						
		事業名 (取組名)	評価		事業名 (取組名)	評価	
構成事業	1	利根町駅伝大会実行委員会補助金	改善	4			
<b>一种从于未</b>	2	豊島杯体育大会補助金	現状維持	5			
	3			6			
主な取組	④ニュースポーツの普及推進						
取組内容	とねワイワイクラブ(総合型地域スポーツクラブ)を中心にニュースポーツの普及 を町内学校体育施設を使用し実施いたしました。						
		事業名(取組名)	評価		事業名 (取組名)	評価	
	1	総合型地域スポーツクラブへの 支援活動	現状維持	4		_	
構出重業		<b>人</b> 极旧勤				I	
構成事業	2	入政旧初		5			

主な取組	⑤体育協会,スポーツ少年団の育成と支援							
取組内容	体育協会加盟団体及びスポーツ少年団加盟団体が各々専門競技を実施し、町内外の競技大会に主催或いは参加し、各種目の向上及びスポーツ人口の増加に資するため各加盟団体に対し補助を行っています。							
		事業名 (取組名)	評価		事業名 (取組名)	評価		
構成事業	1	利根町体育協会補助金	現状維持	4				
一件以爭未	2	学校体育施設開放事業	現状維持	5				
	3			6				

## ●事業費 ~DO②~

	3	主な歳出の節	平成30年度(実績)	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)
		1 報酬	192,000 円	192,000 円	187,200 円
		7 報償費	672,000 円	538,634 円	円
支	内	10 需用費	326,169 円	235,932 円	209,799 円
出	訳	12 委託料	216,000 円	220,000 円	220,000 円
		18 負担金, 補助及 び交付金	1,261,100 円	1,260,900 円	637,400 円
		その他	343,481 円	円	59,400 円
	事業費 計		3,010,750 円	2,447,466 円	1,313,799 円
	主な歳入の科目		平成30年度(実績)	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)
		国支出金	円	円	円
	内	県支出金	円	円	円
財		受益者負担金	円	円	円
源	訳	地方債	円	円	円
		その他	円	円	円
		一般財源	3,010,750 円	2,447,466 円	1,313,799 円
	事業費 計		3,010,750 円	2,447,466 円	1,313,799 円

### ●評価 ~CHECK~

244	○順調	坩	町のスポーツ事業やスポーツイベントの参加者は種目によって増減 がありますが、地域住民の健康・体力の保持増進等に寄与していま
進捗	● 概ね順調	現状	す。
状況	○やや遅れている	分析	
,,,	○遅れている		

# ●改善 ~ACTION~

今 後  $\mathcal{O}$ 方 向

性

町のスポーツ事業やスポーツイベントは人口や情勢を考慮し、規模等の再検討の可能性があ

ります。 また、今まで以上に各事業の広報の見直しに努め、スポーツ推進委員や協力団体との連携を 強化することが必要であると考えます。